

令和3・4年度

福井市男女共同参画推進地域事業 実施報告書

～男女共同参画推進ブロック(8ブロック)の取組～



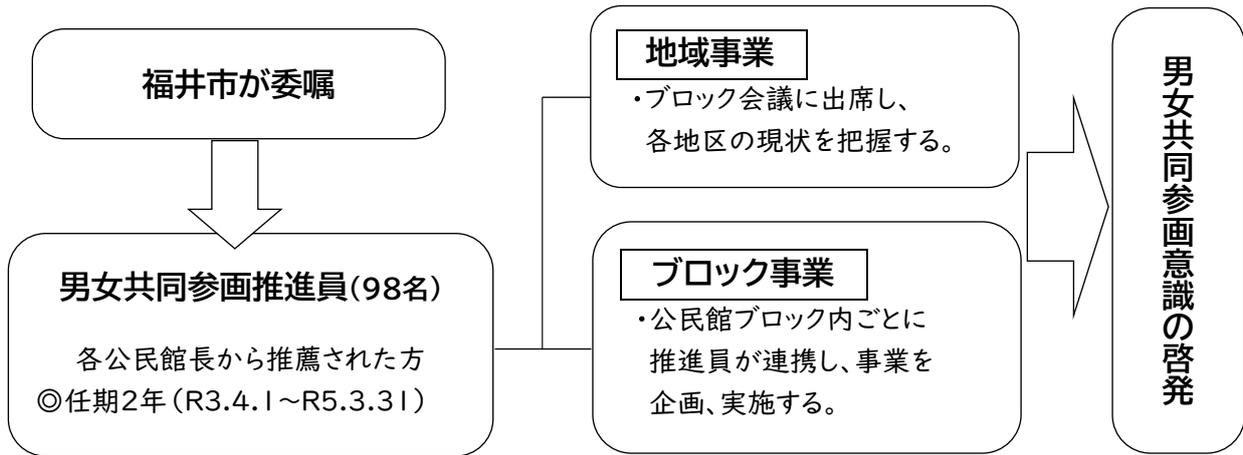
福井市男女共同参画推進地域事業とは…。

男女共同参画社会の実現には、地域社会における市民の男女共同参画意識の醸成が極めて重要です。

このため、市が委嘱する98名の「男女共同参画推進員」が中心となって、生活に最も身近な地域で、男女共同参画に関する啓発活動を行っています。

また、推進員同士の連携を図り、啓発活動をより効果的なものにするため、8つの公民館ブロック単位での活動を実施しています。

この実施報告書では、令和3・4年度に実施した各ブロックの取組を紹介します。



男女共同参画都市福井宣言

わたしたちは自立・平等・平和を基本理念として男女があらゆる分野にともに参画しともに築くやさしさと活力ある福井をめざしここに「男女共同参画都市」を宣言します。

1

お互いの立場を思いやり みんなで家事や育児や介護を
協力しあう「おもいやり家庭」をつくります

2

自らが意識を変え世代を超えたふれあいに努め
ともに参画し個性を生かしあう「ふれあい地域」をつくります

3

家庭での男女共生をもとに能力や機会を生かし
対等なパートナーシップで励みあう「きょうせい職場」をつくります

平成10年3月16日制定

【令和3・4年度 男女共同参画推進地域事業の概要】

市民生活に密着した地区（公民館区）を基本に、市が委嘱する男女共同参画推進員が中心となり、啓発活動を展開する。

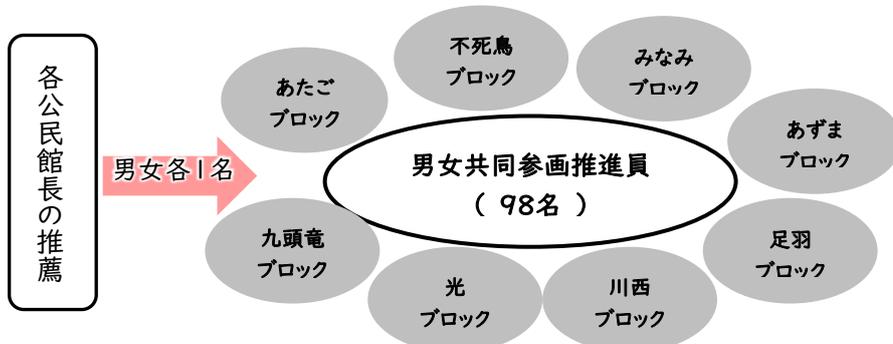
任期2年間の活動

令和3・4年度 活動テーマ：女性の地域活動への参加・参画の推進

【1年目の活動】・地域団体へのアンケート調査の実施
・中間報告会への出席



【2年目の活動】・事業の企画・実施
・成果発表会への出席



《2年間のスケジュール》

	月日	活動
1年目 (R3年度)	6月19日	<ul style="list-style-type: none"> ●委嘱式・基礎研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・地域事業の目的、概要説明 ・推進員の役割と活動内容
	7月～	<ul style="list-style-type: none"> ●ブロック会長会議 <ul style="list-style-type: none"> ・事業の進捗状況の確認 ●ブロック会議 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の準備、実施 ●テーマ別研修会の開催
	1月	<ul style="list-style-type: none"> ●地域団体へのアンケート調査の実施
		<ul style="list-style-type: none"> ●中間報告会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果の分析、報告
	2～3月	<ul style="list-style-type: none"> ●アンケート調査結果を地域団体に報告 <ul style="list-style-type: none"> ・2年目に向けて
2年目 (R4年度)	4月～1月	<ul style="list-style-type: none"> ●事業実施 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果を基に啓発活動を企画、実施 ●ブロック会長会議 <ul style="list-style-type: none"> ・事業の進捗状況の確認
	1月	<ul style="list-style-type: none"> ●成果発表会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・活動発表、特別講演
	3月	<ul style="list-style-type: none"> ●事業実施報告書の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・2年間の活動報告

目次

ページ

- ◆ あたごブロック・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
[木田・豊・足羽・湊]
- ◆ 不死鳥ブロック・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
[春山・宝永・順化・松本・日之出・旭・日新]
- ◆ みなみブロック・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
[清明・東安居・社南・社北・社西・麻生津]
- ◆ あずまブロック・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
[和田・円山・啓蒙・岡保・東藤島]
- ◆ 九頭竜ブロック・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
[西藤島・中藤島・河合・森田・明新]
- ◆ 光ブロック・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
[安居・一光・殿下・越廼・清水西・清水東・清水南・清水北]
- ◆ 川西ブロック・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
[大安寺・国見・鶉・棗・鷹巣・本郷・宮ノ下]
- ◆ 足羽ブロック・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
[酒生・一乗・上文殊・文殊・六条・東郷・美山]

あたごブロック(8名)

会長 宮原 節子

(木田)山崎 利道、梅田 尚子 (豊)永田 春男、生田 裕子 (足羽)宮崎 孝司、宮原 節子
(湊)高橋 武志、堀川 美貴

主な取組内容

R3 アンケート調査の実施

令和3年度は、地域団体への男女共同参画に関するアンケート調査を実施。
「あなたは、男女共同参画に関する研修会を開催した場合、参加したいと思いませんか?」という設問に対し、「参加したい」、「できれば参加したい」との回答が約6割あった。

1.参加したい 7.2% 2.できれば参加したい 52.3%
3.できれば参加したくない 29.6% 4.参加したくない 10.8%

R4 男女共同参画講演会の開催

「男女共同参画」について地区の方々と一緒に勉強したいという推進員の思いと、令和3年度のアンケート結果から、講演会を開催。

日時:令和4年8月25日(日)10:00~11:30

場所:木田公民館

講演テーマ:「福井県の地域特性と男女共同参画」

講師:塚本 利幸教授

(公立大学法人 福井県立大学 看護福祉学部 社会福祉学科)

参加者:地区住民約50名



その他の取組

- ・ブロック会議の開催(事業の企画、打合せ等)
- ・地区の防災訓練等への参加呼びかけ(チラシ配布) など



まとめ

講演会では、講師の塚本教授からは、共働き家庭の家事・育児において、女性が負担を強いられているランキングで福井県が全国3位であるなど、身近な問題についてデータ等を使ってわかりやすく説明していただきました。参加者同士で男女共同参画に関する活発な議論をして、推進員、地区住民ともに、とても有意義な時間となりました。

ブロックから一言

令和3年度のアンケート調査は、地域活動における女性の参加・参画の現状を把握するためのものでしたが、長引くコロナ禍で、各団体の総会や定例会議が思うように開催されず、我々推進員も調査の趣旨説明や調査票の配布を直接することもままならず困窮しました。それでも数少ない会合の中へ出向きお願いをしてきたところであります。今回の調査にご協力頂いた各種団体の皆様には厚く御礼申し上げます。

我がブロックは、推進員8名のうち、6名が新任と大幅に入れ替わり、心配もしておりましたが、各推進員が積極的に動き、調査の目的は達成できたものと思います。

今回の調査の中で見えてきたことは、いずれの団体も男女の比率は圧倒的に男性が多く、女性の参加率はどの地区でも低いことでした。

そのような現状から、当ブロックでは、福井県立大学の塚本教授をお招きし、「福井県の地域特性と男女共同参画」と題した講演会を開催し、世界と日本、福井県の男女共同参画における現状を比較しながら講演いただきました。推進員と参加者約50名で男女共同参画の重要性を学び、活発な議論があったことから、講演会を開催して良かったと感じております。



不死鳥ブロック(14名)

会長 野路 晃

(春山) 酒井 康次、荻原 藤美枝 (宝永) 塚田 隆夫、吉田 和美 (順化) 宇野 俊之、本田 慎子
 (松本) 前田 謙二、志々場 博子 (日之出) 徳永 芳久、北 美雪 (旭) 野路 晃、法山 恭子
 (日新) 稲木 利幸、横山 美弥子

主な取組内容

R3 アンケート調査の実施

令和3年度は、地域団体への男女共同参画に関するアンケート調査を実施。男女共同参画に関する地域の実情や意識を把握。

R4 男女共同参画啓発チラシの作成

アンケート調査結果を踏まえ、啓発活動の内容を検討した結果、広く住民の方に男女共同参画の現状を知ってもらいたいという思いから、啓発チラシを作成。各公民館の協力を得て、定例の配布物に合わせて全戸配布。(約15,000部)

チラシを見た地区住民の方からの感想

- ・「高齢の男性も、自主防災活動などに“女性が必要”だと考えてくれていると初めて分かった。今までは、“女性なんていらなそう思われている”と思っていた。」
- ・「今まで、男女共同参画への取り組みが見えにくかったが、今回のチラシで男女共同参画推進員の取り組みが良く分かった。」



R4 パネル展示

全戸配布したチラシの内容を中心にパネルを作成。ブロック内の各公民館に展示



その他の取組

- ・ブロック会議の開催（事業の企画、打合せ等）
- ・地区の防災訓練等への参加呼びかけ（チラシ配布） など



まとめ

ブロック内で全戸配布した啓発チラシやパネル展示を通して、地域の男女共同参画意識の醸成には、地道な活動の積み重ねが大切だと感じました。

ブロックから一言

令和3年度はアンケート調査の実施、4年度には啓発チラシの作成とパネル展示を行いました。当初はコロナの影響で会合を開くにも困難な状況でしたが、何とか事業を終えることが出来ました。

初参加の人も多く、啓発事業の内容で悩みましたが、まず男女共同参画の現状を広く知ってもらうことが一番との考えから、アンケート結果を入れた啓発チラシを作成し、全戸配布することに決めました。加えて露出を高めるために公民館でのパネル展示を実施しました。

チラシは堅苦しくならないよう留意して読みやすい内容のものにしました。推進には地道な活動の積み重ねが大切だと感じ、活動を終えた今、推進員の立場の有無に関わらず、今後も関心を持ち続けていきたいと思っています。



みなみブロック(12名)

会長 内田 裕美子

(清明)田中 嘉久、嶋田 紀美江 (東安居)田賀 俊成、溝越 裕紀枝 (社南)三仙 祐二、岩田 京子
 (社北)鳶川 光司、間 朋子 (社西)横山 忠雄、上坂 鈴子 (麻生津)高村 俊、内田 裕美子

主な取組内容

R3 アンケート調査の実施

令和3年度は、地域団体への男女共同参画に関するアンケート調査を実施。男女共同参画に関する地域の実情や意識を把握。

R4 男女共同参画「川柳コンテスト」の実施

川柳を作ったり、鑑賞したりすることが、家庭や地域での男女の協力についての気づきや認識を深めることになることから、川柳コンテストを開催。(今回で2回目)

今回の募集テーマは、「家事・育児での男女の協力」

「地域活動での男女の協力」

各地区の公民館の協力を得て、募集チラシや応募箱を設置。

入賞作品は、公民館だよりやパネル展示を通して、住民に周知。



応募件数: 159 作品



その他の取組

- ・ブロック会議の開催 (事業の企画、打合せ等)
- ・地区の防災訓練等への参加呼びかけ(チラシ配布) など

ママ残業
パパの包丁
歌いだす

参画は
みんなで話せば
丸くなり

家事育児
ネコの手よりは
夫の手

まとめ

1年目はアンケート調査を通して、地域の実情を把握し、2年目は活動テーマに沿った川柳コンテストを開催。地域住民に男女共同参画について考える機会を提供できたのではと思います。

ブロックから一言

2年を1期としてブロック事業を進めていく中で、前期に「アンケートから川柳コンテストへ」という流れができました。今期も、市のアンケート結果を踏まえ、第2回目の川柳コンテストを実施しました。各地区が足並みをそろえつつ、目的意識を持ってブロック事業に取り組むことができました。このことは、各地区の推進員と公民館の協力と連携なしには成り立ちません。

特に、インターネットを活用して推進員同士の連携を図ったり、ブロック会議を地区持ち回りで開催し、各地区の事情を共有したりしたことが、良い結果につながったのではないかと思います。

今回の川柳コンテストは、2回目ということもあり、認知度も上がりました。住民参加型の啓発活動として今後も継続し、やがて福井市全体の取り組みとして発展していければと願っています。

これまでご協力いただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げます。



あずまブロック(10名)

会長 木村 敏彦

(和 田)菅原 藤理、中村 浩美 (円 山)近藤 實、俵谷 智美 (啓 蒙)中廣 互、小林 馨
 (岡 保)加畑 正和、錠詰 幸恵 (東藤島)木村 敏彦、黒永 和美

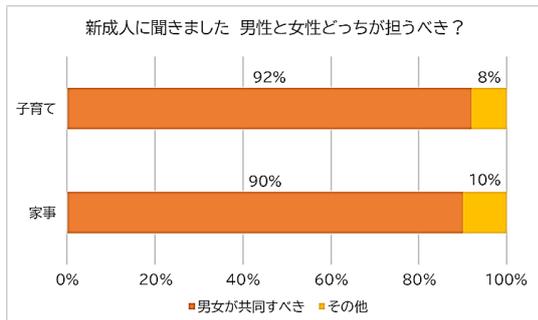
主な取組内容

R3 アンケート調査の実施

令和3年度は、地域団体への男女共同参画に関するアンケート調査を実施。
 男女共同参画に関する地域の実情や意識を把握。

R4 地区文化祭でのパネル展示

各地区文化祭で令和3年度地域団体へのアンケート調査結果や新成人への男女共同参画に関するアンケート結果などをパネルにて展示。



R4 小学校での出前授業

男女共同参画(性別にとられない職業選択等)に関する出前授業を開催。

日にち:11月28日(月)

対象:啓蒙小学校4年生 約80名



その他の取組

- ・ブロック会議の開催(事業の企画、打合せ等)
- ・各公民館で新成人の意識アンケートの実施
- ・地区の防災訓練等への参加呼びかけ(チラシ配布)など

まとめ

令和3年度に実施した地区内の各種団体・新成人に対するアンケート調査結果によると、老若男女とも、女性活躍に向けた意識は高まりつつあると感じました。令和4年度はコロナ禍で実施できていなかった出前授業を啓蒙地区で再開できました。

ブロックから一言

あずまブロックでは、小学校での出前授業や新成人に対し、仕事、家事等の意識調査を行っています。

令和3年度の活動は地区内各種団体への意識調査、新成人意識調査のみでしたが、令和4年度は啓蒙小学校で出前授業を再開できました。

新成人意識調査結果では、これまでと比べて家事・育児・介護等は男女関係なく協力し合うべきとの意見が大きくなっていました。出前授業やパネル広報など、小さな活動でも継続的に実施してきたことが、その要因の一つになっていると思います。

そして、若い人達の意識が変わっていくことで、男女共同参画もごく普通のことになっていくのかなと感じています。



九頭竜ブロック(10名)

会長 河原 友子

(西藤島)中田 欽也、須見 佐知子 (中藤島)森川 峰幸、黒岡 喜久尾 (河合)上田 重幸、大坂 里美
(森田)伊藤 二郎、早津 みさ子 (明新)小林 修二、河原 友子

主な取組内容

R3 ブロック内における「人間の共同参画」のあり方を取材

地域で活躍している方(公民館職員、地区連合自治会長など)に取材を実施。

- ・男性の育休
- ・地域、企業、大学、文化の垣根を越えたつながり「共同参画」など



R4 朗読劇、座談会等の開催

「人間の「共同参画」を支えるもの」をテーマに朗読劇の作成

- ・取材内容やアンケート調査結果を踏まえた創作朗読劇で提案。
- ・朗読劇の披露、座談会を開催(11/26 森田公民館 62名参加)。

朗読劇



座談会



座談会で出た意見(抜粋)

- ・時間帯を考え直す、変えていく等、「女性が参画しやすい雰囲気作り」に取り組んでいくべきである。
- ・男の人も女の人も、「家庭」、「職場」それぞれにおいて、「できること」を積極的にどんどんやったら「男女共同参画」が実現するのではないか。

その他の取組

- ・ブロック会議の開催(事業の企画、打合せ等)
- ・地区の防災訓練等への参加呼びかけ(チラシ配布)など

まとめ

女性が地域活動などに参画するには、「家庭」の協力と共に「地域社会」に参画しやすい仕組みがあることが不可欠であることがわかりました。

ブロックから一言

これまで女性を中心に捉え「女性参画の推進」を考えてきたが、今期は視野を人間全体とした「人間の共同参画を支えるもの」を指針に活動を行いました。

1年目はブロック内全5地区で「人間の共同参画」のあり方を取材し、また同時に男女共同参画についてアンケート調査を実施し、結果を地域に報告しました。

2年目には取材とアンケート結果を基に朗読劇を作成し、公民館にて劇の上演、座談会、演奏会の一連イベントを開催しました。

老若男女が生き生きとそれぞれに、共同して活躍する居心地良い世界には互いを真剣に考えたアイデアや工夫、仕組みや仕掛けで溢れています。女性が社会に参画し活躍していける背景にも、この様に協力的な「家庭環境」と「社会組織」が、共に不可欠だと思いました。



光ブロック(16名)

会長 河村 英則

(安居) 飛田 幸平、永井 陽子 (一光) 竹内 慶一、竹田 満里子 (殿下) 護城 一哉、村本 順子
 (越 廻) 室木 英彦、杉田 美代子 (清水西) 木下 成三、渡辺 和子 (清水東) 橋詰 直英、田中 早百合
 (清水南) 河村 英則、西村 理恵 (清水北) 堀田 章市、山下 千鶴

主な取組内容

R3 アンケート調査の実施

令和3年度は、地域団体への男女共同参画に関するアンケート調査を実施。
 男女共同参画に関する地域の実情や意識を把握。

R4 男女共同参画推進 川柳コンテストの実施

地域住民の方に男女共同参画について、考えてもらおうと
 川柳コンテストを開催。

募集テーマは、「男女を問わない 明るい未来へ」

各地区の公民館の協力を得て、募集チラシや応募箱の設置

応募件数:約 100 件



会長は 男でないこと
 女性委員

ゴミ捨ては 集めて結んで
 家事という

褒め殺し 日に日に増える
 夫の家事



その他の取組

- ・ブロック会議の開催（事業の企画、打合せ等）
- ・地区の防災訓練等への参加呼びかけ（チラシ配布）など



まとめ

地域住民の方に男女共同参画について考えてもらおうと川柳コンテストを開催したところ、100件近くの応募がありました。川柳を通して地区住民の男女共同参画についての様々な思いを知ることができました。

ブロックから一言

光ブロックでは、「昔と今の暮らしの中で、男女の立場や役割が変わったなあ・変わっていないなあ」と感じることや、「こんな男女共同の未来になってほしいなあ」ということをテーマに川柳を募集してコンテストを実施しました。

100件近い応募があり、その中から「会長賞」など入賞作品を選出しました。選出した入賞作品は、「市男女共同参画推進員成果発表会でのパネル展示」および「各地区でのチラシ配布や回覧、掲示」を行いました。

この川柳コンテストを通して、各地区での男女共同参画について改めて考える機会になったと思います。



川西ブロック(14名)

会長 坂下 芳恵

(大安寺)二丹田 博、坂下 佐登美 (国見)新谷 信吉、榎谷 薫 (鶉)清川 清治、田行 史子 (粟)山下 祐幸、船谷 雅子 (鷹巣)西森 道雄、坂下 芳恵 (本郷)内田 信行、伊藤 光恵 (宮ノ下)竹川 勝、久津見 静枝

主な取組内容

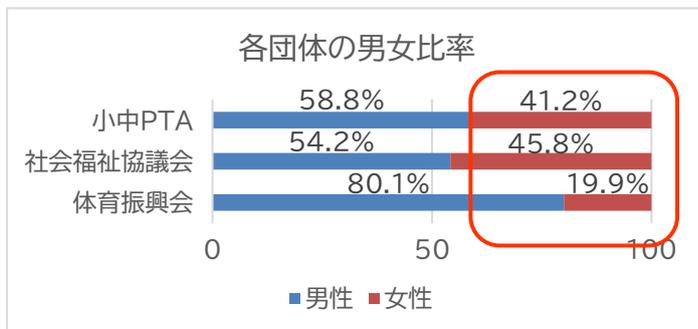
R3 アンケート調査(自治会連合会等)の実施

令和3年度は、地域団体への男女共同参画に関するアンケート調査を実施。
男女共同参画に関する地域の実情や意識を把握。

R4 アンケート調査(体育振興会等)の実施

令和3年度の調査できなかった若い世代の男女共同参画についての実情や意識を調査。

対象:川西ブロックの体育振興会、社会福祉協議会、
小中PTA 会長21名、会員285名



結果は・・・

- ・PTA や社会福祉協議会の活動には、女性が半数近く参画している。
- ・体育振興会の活動には男性が8割で、女性の参画がまだまだ進んでいないことがわかった。

R4 パネルの作成



その他の取組

- ・ブロック会議の開催 (事業の企画、打合せ等)
- ・地区の防災訓練等への参加呼びかけ(チラシ配布) など

まとめ

アンケート調査を通して、地域活動に参加している30代や40代の男女共同参画の意識や考えなどを知ることができました。

ブロックから一言

私たちのブロックでは、令和3年度のアンケート調査を終えて、更なる調査が必要であると感じ、令和4年度の調査対象を30代、40代の子育て世代にも広げ、調査活動を行いました。その結果、若い世代の考えや意見を知ることができ、熟年層に比べ男女共同参画に対する理解は進んでいると実感しました。そこで、男性、女性による社会参加の仕方ではなく、「私は〇〇がしたい」「私は△△に参加して地域貢献をしたい」等、個々の特性を活かしてともに生きていく社会にしていけると良いと思いました。

今回私たちは、地域に密着した活動を通じて、様々なご意見やご感想などをいただき、いろいろなことを学ぶことができました。これもブロック内の皆様方のお力添えがあればこそです。心から感謝申し上げます。



足羽ブロック(14名)

会長 吉田 義量

(酒 生)山形 健治、清水 久恵 (一 乗)吉田 義量、伊與 文恵 (上文殊)熊谷 静夫、山田 佐江子
 (文 殊)藤井 哲也、瀬尾 美奈 (六 条)小林 直樹、村上 しずえ (東 郷)帰山 利和、林 裕美
 (美 山)松田 博明、山崎 洋美

主な取組内容

R3 アンケート調査の実施

令和3年度は、地域団体への男女共同参画に関するアンケート調査を実施。
 男女共同参画に関する地域の実情や意識を把握。

R4 アンケート調査報告書の作成

令和3年度に実施した地域団体への男女共同参画に関するアンケート調査の報告書を作成し、アンケートの回答に協力いただいた団体等へ配付を行った。

【報告書(一部抜粋)】

Q.どのようにすれば女性が地域活動に参加し易くなると思いますか。

- A.・地域のリーダーを育成する講演会などの啓発活動を行い、女性をリーダーに起用する機運を高める。また自治会長・副会長などの役職にもっと女性を起用する。
 ・家事・育児・介護は女性の仕事として位置付けられている感覚がある。その意識を変えていくことと、男性や家族の理解と協力を得られる環境と雰囲気づくりが必要。

R4 各地区公民館でのパネル展

地区住民の方に調査結果を知ってもらうため、報告書の内容をもとにパネルを作成し、各公民館において展示

地区住民の感想(抜粋)

- ・これからの男女共同参画にむけて、各団体や地域の意識改革が大切です。
- ・「女らしくなさい」、「男らしくなさい」等の言葉が無意識のうちに使っている。
- ・男女共同参画という言葉がようやく浸透してきて、生活の中に根付いてきている。



その他の取組

- ・ブロック会議の開催 (事業の企画、打合せ等)
- ・地区の防災訓練等への参加呼びかけ(チラシ配布) など



まとめ

アンケート調査において、女性が地域活動に参加するためには、意識の変化や周りの協力等が必要であることがわかりました。このような現状を知るといふことの大切さも実感しました。

ブロックから一言

アンケート調査は男女共同参画に対する意識や考えをより深掘りするために選択方式ではなく記述方式で行いました。その結果、男女共同参画に対する意識や考え方は多種多様であるものの、その取り組みは進めるべきと認識していること、その一方で、男女共同参画促進を阻害する要因の一つとして考えられる男女間の役割分担に関する暗黙の了解や、根深く残る慣習があることがわかりました。

また、アンケート調査報告書の内容を基に、各公民館においてパネル展示を行い、パネルを見た感想や意見を記入してもらいました。

これらの結果で男女共同参画に関する意識と現状をさらに深掘りすることができ、「男女共同参画に対する意識と現状を知る」ことができました。



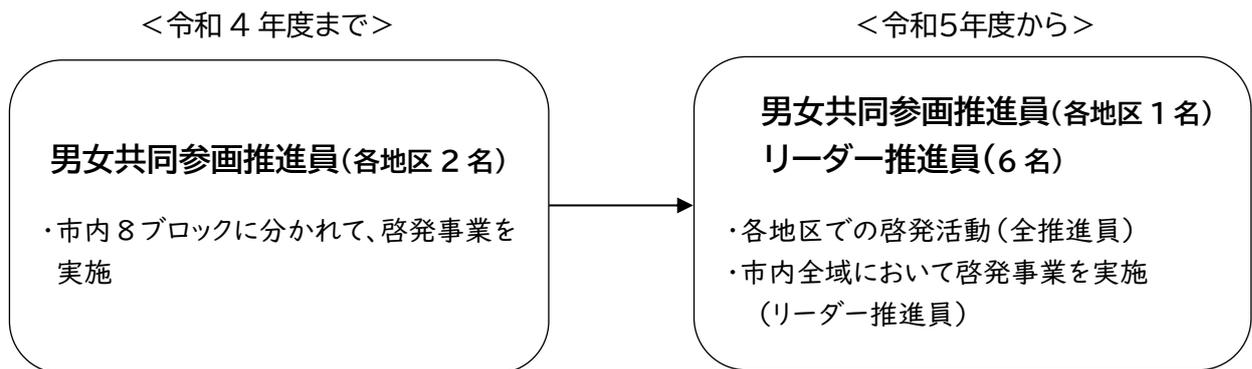
令和5年度福井市男女共同参画推進地域事業について

本事業は平成11年度から20年以上にわたり地域の男女共同参画意識の醸成のため、実施しています。その間、公民館運営審議会をはじめ、地域の各種団体への女性の参画が増えてまいりました。

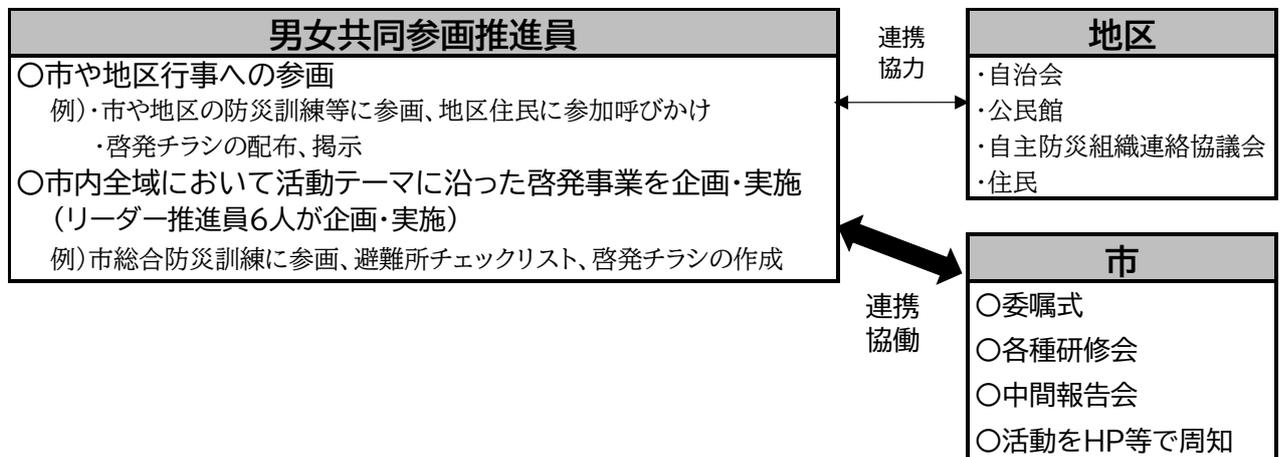
長年にわたる男女共同参画推進員の活動により、地域における男女共同参画意識の向上が図られ、これもひとえに推進員が、各地域にて継続して啓発活動を行っていただいた成果だと考えております。

さて、令和5年度の推進員の活動につきましては、これまでの成果と課題を踏まえて事業を見直し、市内公民館の8ブロックに分かれて啓発活動していたブロック事業を、福井市内全域にわたる広域的な意識啓発事業として実施いたします。それに伴い、各地区の推進員を1地区あたり2名から1名に変更することとしました。

また、市内全域にわたる広域的な意識啓発事業の企画・運営等は、市との連携のもと、新たに指名する「リーダー推進員」が行う予定をしています。



○令和5年度福井市男女共同参画推進地域事業の取組 令和5年度活動テーマ:防災における女性の参画推進



不死鳥のねがい（福井市市民憲章）



わたくしたちは 不死鳥福井の市民であることに誇りと責任を感じ
郷土の繁栄と幸福をきずくため 力をあわせ 不屈の気概をもって
このねがいをつらぬきましょう

実践目標（平成31年4月～令和6年3月）

- 1 すすんで 親切をつくし 愛情めやかなまちを つくりましょう
あいさつで 心あうよろこび 深める絆
- 2 すすんで 健康にころがけ スポーツで 広がれつながれ 元気の輪
明朗で活気あるまちを つくりましょう
- 3 すすんで くふうをこらし 心るさを 今よりもっと 美しく
清潔で美しいまちを つくりましょう
- 4 すすんで きまりを守り 安全で住みよいまちを つくりましょう
たかめよう 交通マナーと 防災意識
- 5 すすんで 教育を重んじ 心くいの魅力 学んで知って 広めよう
清新な文化のまちを つくりましょう

（昭和39年6月28日制定）

不死鳥のねがい（福井市市民憲章）推進協議会



福井市